

報道関係各位  
プレスリリース

2022年1月13日  
株式会社クラシコム

**「北欧、暮らしの道具店」ポッドキャスト、総再生回数1,000万回突破  
配信100回記念で、YouTube・インスタ生配信を1月21日(金)21時スタート  
～アニメーション作家・大桃洋祐による番組の新キービジュアルも発表予定～**

ライフカルチャープラットフォーム「北欧、暮らしの道具店」を運営し、メディア事業やドラマ・映画製作などの映像事業、雑貨や衣類などの開発・販売を展開する株式会社クラシコム（本社：東京都国立市、代表取締役：青木耕平、以下「当社」）は、2018年5月から配信を開始した、社員が出演する「チャポンと行こう！」などのポッドキャスト番組の総再生回数が1,000万回を突破したことをお知らせいたします。また、「チャポンと行こう！」では、1月30日（日）の配信で100回目を迎えることを記念して、1月21日（金）に生配信をYouTubeとInstagramで行います。

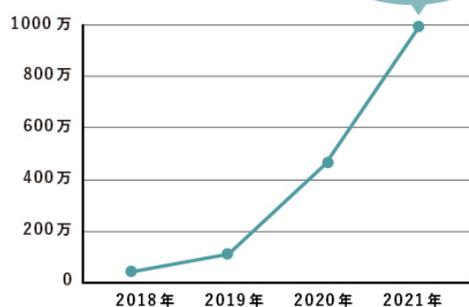
「北欧、暮らしの道具店」のポッドキャスト

チャポンと行こう！

## 配信100回記念・YouTube生配信決定！

< 1月21日(金) 21時 START >

累計再生回数  
1000万回  
突破！



### ■100回記念・生配信について

ポッドキャスト番組「チャポンと行こう！」とは、当社取締役で「北欧、暮らしの道具店」店長の佐藤と、スタッフのよしべこと青木がお届けする、隔週日曜配信のインターネットラジオです。「人生に目標って必要？」「40代になった今、夢はある？」など熱いものから、「とにかくカゴが好き」「買ってよかったものランキング」など、一緒にお風呂に浸かっているような“チャポン”とゆるまるトークをお届けし、「チャポラー」と呼ばれるリスナー達からこれまで2,000通以上のお便りが届くなど、反響が大きい点が特徴です。

生配信当日は、パーソナリティの2人がいつものようにゆるいトークを繰り広げると共に、100回記念として、アニメーション作家・イラストレーターの大桃洋祐<sup>\*1</sup>氏が手がける同番組の新たなキービジュアルを発表予定です。

### 【生配信日時】

日時：2022年1月21日（金） 21:00～22:00

配信方法：YouTube、Instagramの下記公式アカウントにて

・YouTubeチャンネル

「もうひとつの北欧、暮らしの道具店」

URL：<https://youtu.be/e9l-xsm7rik>

・Instagram

「北欧、暮らしの道具店」公式アカウント

URL：[https://www.instagram.com/hokuoh\\_kurashi/](https://www.instagram.com/hokuoh_kurashi/)



▲ 写真（左）店長 佐藤（右）スタッフ 青木

## ■ポッドキャスト1,000万回突破の経緯

当社はライフカルチャープラットフォーム「北欧、暮らしの道具店」において、世界中のアイテムのセレクト販売や自社ブランドを展開する他、レシピやインテリア紹介などをするメディア運営、ドキュメンタリーやドラマの映像制作、映画の製作など、さまざまなサービスを展開しています。

「北欧、暮らしの道具店」のポッドキャスト（当社では、インターネットラジオと呼称）は、2018年5月から「Spotify」などで配信を開始しました。現在は、当社取締役・店長の佐藤と、“よしべ”こと当社スタッフの青木が、「人生に目標って必要？」

「服を買う時試着をする？」など様々なテーマでトークをする「チャポンと行こう！」と、「北欧、暮らしの道具店」で掲載した人気エッセイをスタッフが読む「エッセイラジオ」の2番組を、毎週日曜20時に公式アプリ・Spotify・Apple Podcastなど7つのプラットフォームで交互に配信しています。

配信を開始した2018年の年間再生回数は20万回で、コロナ前の2019年は年間90万回でした。コロナ下の2020年では前年比360%伸長の340万回、2021年現在は前年比170%伸長の580万回となり（2019年からは630%増）、2021年12月に総再生回数1,000万回を達成しました。



・ 関連情報（再生回数増の背景や詳細、ポッドキャスト番組での企業タイアップの取り組みなど）  
2021年11月11日発表 プレスリリース：

<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000050.000024748.html>

## ※1：大桃 洋祐（おおもも ようすけ）氏 プロフィール

1985年生まれ。千葉県出身。東京藝術大学デザイン科にて学部から大学院まで6年間学び、その間アニメーションの制作に打ち込む。2011年大学院修了後フリーランスのアニメーション作家として「おかあさんといっしょ」「みんなのうた」「2355」(NHK Eテレ)等のテレビ番組や「ティファニー×ゼクシィ」「ローソン」等のプロモーションムービーのアニメーションを制作。2018年頃から絵画・イラストレーションの制作も始め、2020年11月に初めての絵本「ぼくらのまちにおいでよ」(小学館)を出版。東京都にて活動中。



## ■ポッドキャスト番組 概要

①番組名：「チャポンと行こう！」

URL：<https://hokuohkurashi.com/note/category/tokushuu/tokushuu-active/sundayradio>

配信開始日：2018年5月（隔週日曜日20時配信）

総再生回数：863万回

配信番組数：98本

株式会社クラシコム取締役で「北欧、暮らしの道具店」店長の佐藤と、スタッフのよしべこと青木がお届けする、隔週日曜配信のインターネットラジオ。「人生に目標って必要?」「4代になった今、夢はある?」など熱いものから、「とにかくカゴが好き」「買ってよかったものランキング」など、ゆるいものまでテーマはさまざま。



②番組名：「エッセイラジオ」

URL：[https://hokuohkurashi.com/note/category/tokushuu/tokushuu-active/essay\\_radio](https://hokuohkurashi.com/note/category/tokushuu/tokushuu-active/essay_radio)

配信開始日：2020年7月（隔週日曜日20時配信）

総再生回数：162万回

配信番組数：39本

隔週日曜の20時。誰もがほっと一息つきたい時間に「おつかれさま」の気持ちを込めてエッセイを朗読するラジオ番組。家族や同僚を思いやり労いの声をかける側の人に向け、「おつかれさま」を声にのせてお届け中。



※ 再生回数は、配信プラットフォーム（公式スマホアプリ、Apple Podcast、Spotify、Google ポッドキャスト、YouTube、SoundCloud）の総数。Amazon Musicは集計システムがないため含まず。

※ 再生回数は2021年12月末まで、番組本数は2022年1月12日までの集計

## 出演者紹介

株式会社クラシコム取締役

「北欧、暮らしの道具店」店長

佐藤 友子（さとう ともこ）

2006年、実兄である青木と株式会社クラシコム共同創業。2007年に開業したECメディア「北欧、暮らしの道具店」の店長として、商品・コンテンツの統括を行っている。

「北欧、暮らしの道具店」編集スタッフ

青木（あおき）愛称：よしべ

2009年に「北欧、暮らしの道具店」の実店舗・国立店の店長として入社。2014年に国立店が閉店してからは、「北欧、暮らしの道具店」編集スタッフに。夫はクラシコム代表・青木。佐藤とは義姉妹の関係。



▲ 写真（左）スタッフ 青木（右）店長 佐藤

## ■ライフカルチャープラットフォーム「北欧、暮らしの道具店」とは

[HP]<https://hokuohkurashi.com/>

[事業紹介動画][https://youtu.be/BFle3c\\_KFPg](https://youtu.be/BFle3c_KFPg)

「フィットする暮らし、つくろう。」をテーマに、北欧を中心とした様々な国の雑貨を販売しながら、Web記事、音声メディア、ドキュメンタリーやドラマなどを独自の世界観（ライフカルチャー）で発信するライフカルチャープラットフォームです。

2021年は、オリジナルドラマ『青葉家のテーブル』の映画版を6月に劇場公開し大きな反響をうけると共に、様々なエンゲージメントチャンネルを持つプラットフォームとしての広いリーチ力と、世界観でつながるビジネスの独自性が評価され、2021年度「ポーター賞」を受賞しました。



\* 2022年1月現在

▲ エンゲージメントチャネルの実績値



▲ライフカルチャープラットフォーム「北欧、暮らしの道具店」イメージ図  
独自の世界観（ライフ・カルチャー）があふれるサービスを体験できる  
リゾートパークのようなプラットフォーム

## ■会社概要

社名：株式会社クラシコム

英文表記：Kurashicom Inc.

代表者：代表取締役 青木耕平

設立：2006年9月

本社：東京都国立市中二丁目18番地42

資本金：800万円

事業内容：EC事業、メディア事業、広告事業、雑貨企画販売事業

URL：<https://kurashicom.jp/>



代表取締役 青木耕平 プロフィール

1972年、埼玉県生まれ。2006年、実妹である佐藤友子と株式会社クラシコム共同創業。2007年より北欧ヴィンテージ雑貨のECサイト「北欧、暮らしの道具店」を開業。

現在では「フィットする暮らし、つくろう。」をコンセプトに、北欧に限らず様々な商品をセレクト販売するとともに、オリジナル商品の開発・販売を行う。また、WEBサイト上での日々の暮らしに関するコンテンツ配信や、2021

年に劇場公開した『青葉家のテーブル』をはじめとした映像製作、企業とのタイアップ広告事業「BRAND NOTE PROGRAM」など、ライフカルチャーにまつわる事業を展開中。

本件に関するお問い合わせ先

株式会社クラシコム広報担当：馬居（うまい）

Email：[press@kurashicom.jp](mailto:press@kurashicom.jp) /TEL：050-1749-6113